

令和7年度 住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年 4月17日	学校	112	55	55	6.0	8.8
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	514
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞

領域別の平均正答率を全国と比較すると、「A.話すこと・聞くこと」は1.3割、「C.読むこと」は1.4割、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は3.2割上回った。

しかしながら、「B書くこと」では、全国より2.4割下回ったことから、文章を書く力が向上するよう、考えを深めて伝えることを意識した指導に取り組む必要がある。

また、情報の扱いに関する事項にかかる出題がされなかったが、総合的読解力の向上をめざした授業を展開する必要がある。

＜数学＞

平均正答率を全国と比較すると、すべての領域で上回った（「A.数と式」は6.1割、「B.図形」は9.8割、「C.関数」は7.8割、「D.データの活用」は4.2割）。基礎学力の定着を継続し、平均正答率が低い生徒の層の底上げを図りたい。

＜理科＞

平均IRTスコアを全国と比較すると、11割上回った。数学と同様に平均正答率が低い生徒の底上げに努める必要がある。

【今後に向けて】

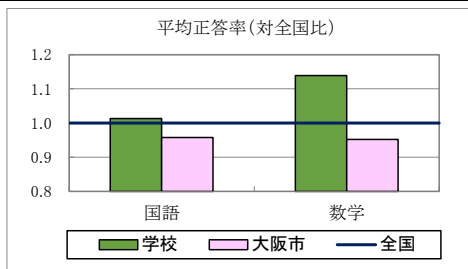
平均正答率を全国と比較すると、概ね基礎的な学力が定着している生徒が多いと言える。しかしながら、誰一人取り残すことのないよう細やかな指導に努めるとともに、今後も学習活動での振り返りを丁寧に行う必要がある。また、情報の扱い方に関する事項やデータの活用にかかる領域に成果が表れるぐらい、総合的読解力の向上に向けた探究学習を教科横断的に取り組む必要がある。

令和7年度 住吉中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

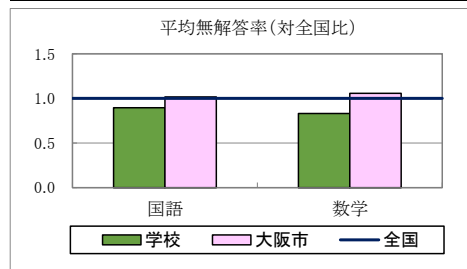
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	55
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

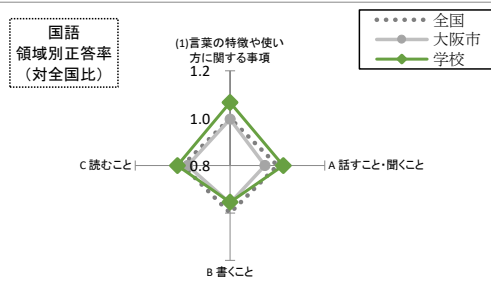
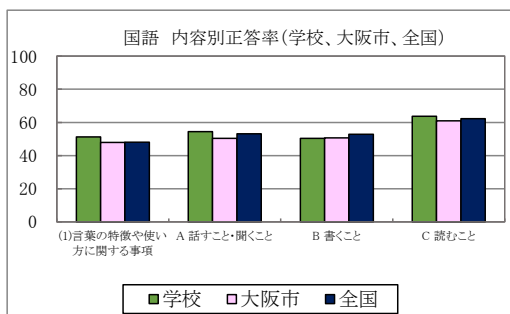


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.0	8.8
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



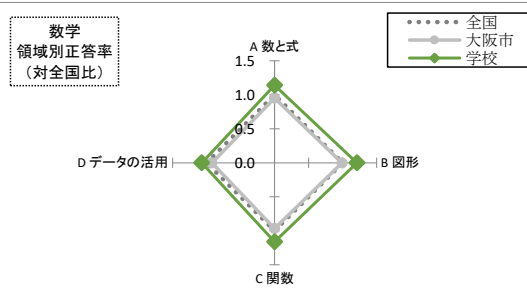
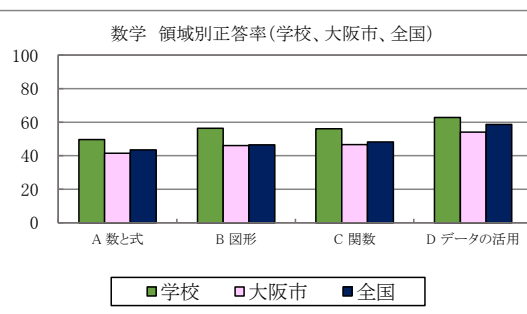
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	51.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	54.5	50.4	53.2
B 書くこと	5	50.4	50.6	52.8
C 読むこと	3	63.7	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	49.6	41.4	43.5
B 図形	4	56.3	46.1	46.5
C 関数	3	56.0	46.6	48.2
D データの活用	3	62.8	54.0	58.6

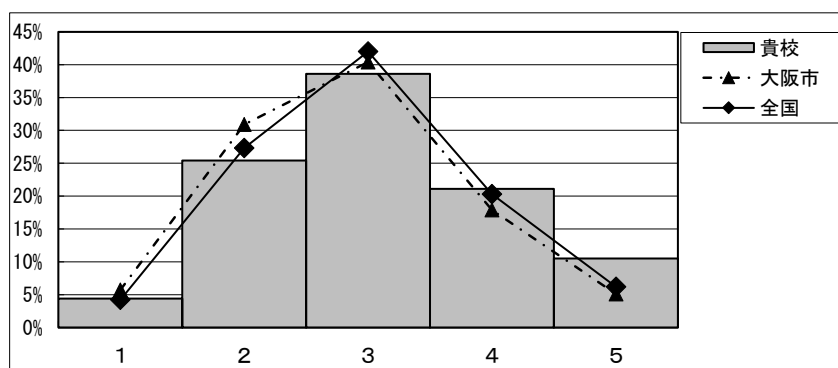
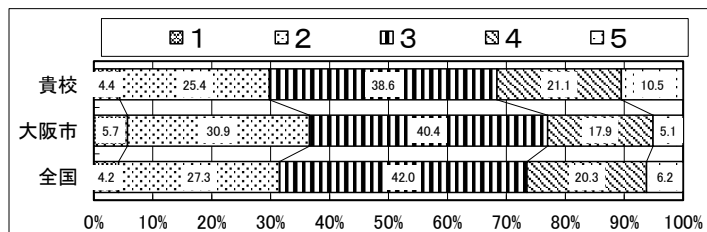


令和7年度 住吉中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	514
大阪市	489
全国	503



令和7年度 住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

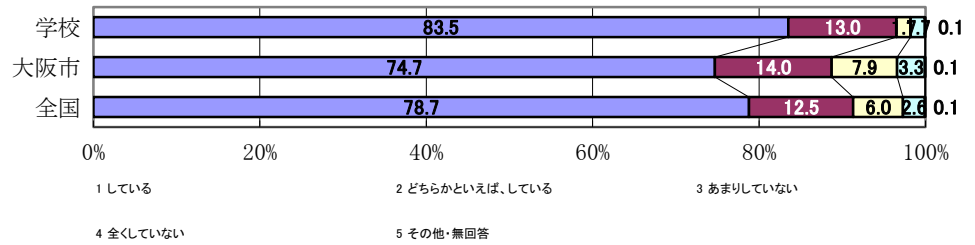
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

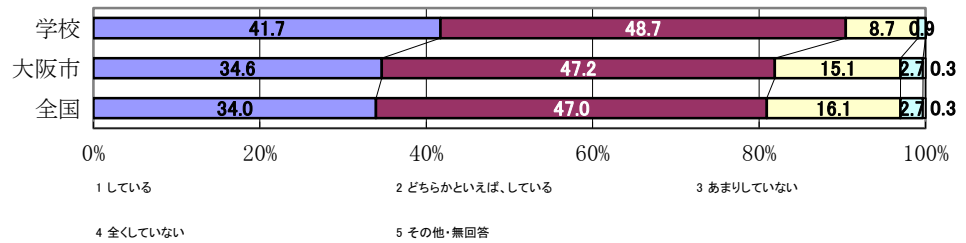
1

朝食を毎日食べていますか



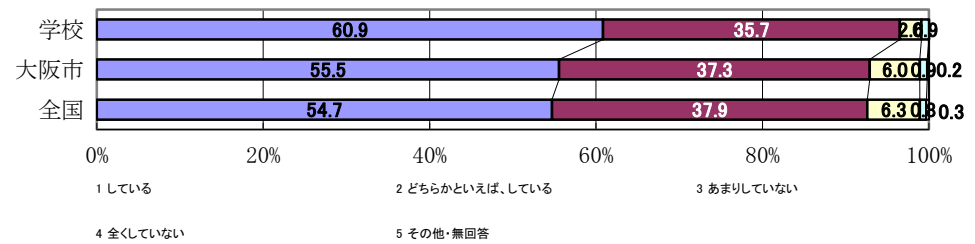
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



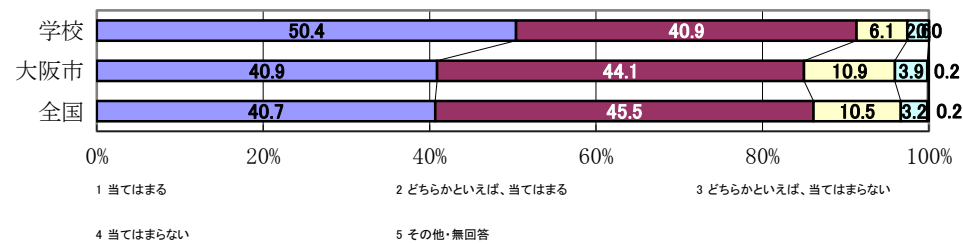
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



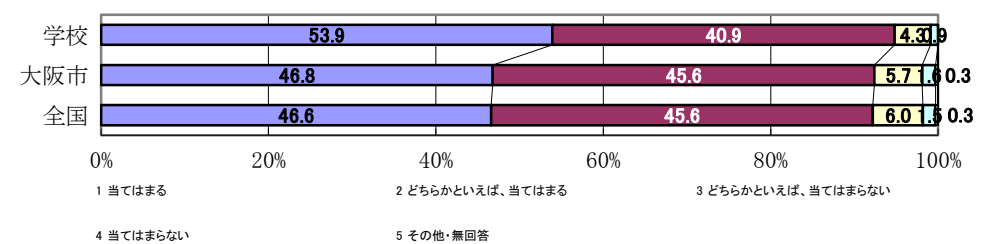
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



令和7年度 住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

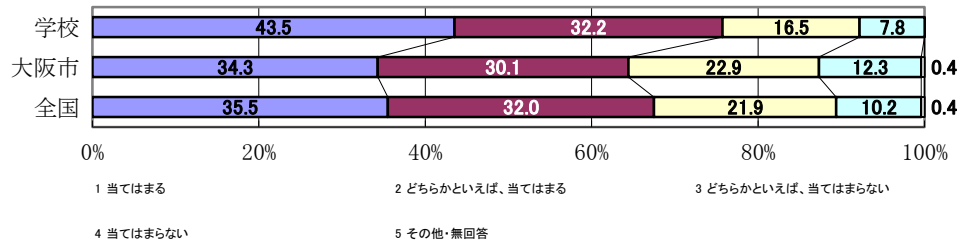
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

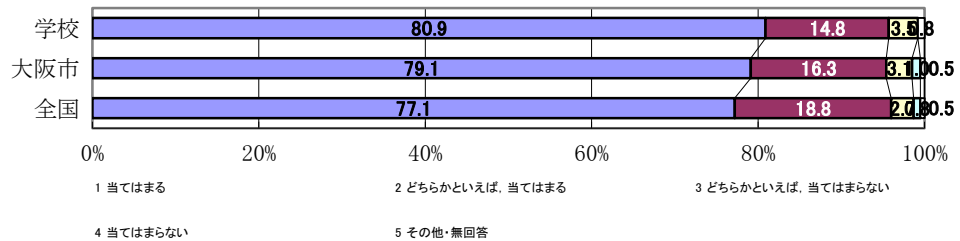
7

将来の夢や目標を持っていますか



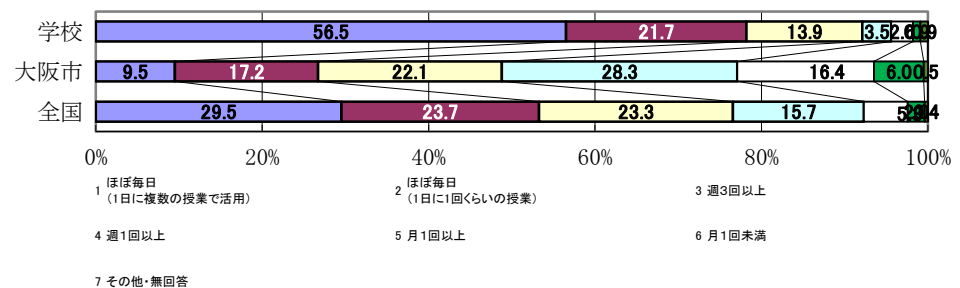
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



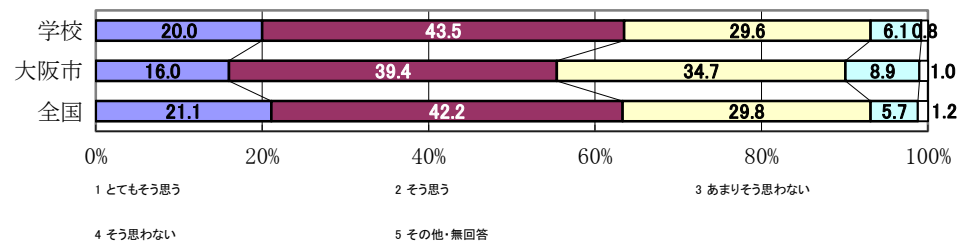
28

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



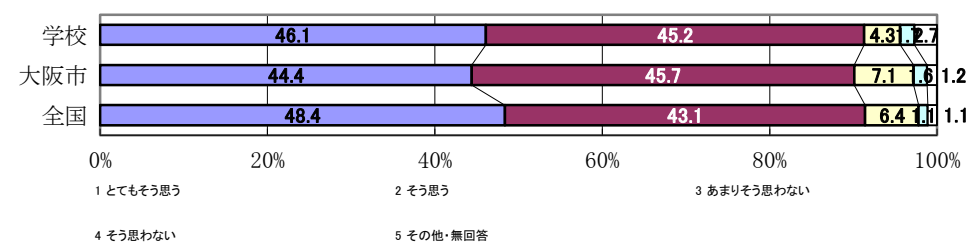
73

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか



72

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか



令和7年度 住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

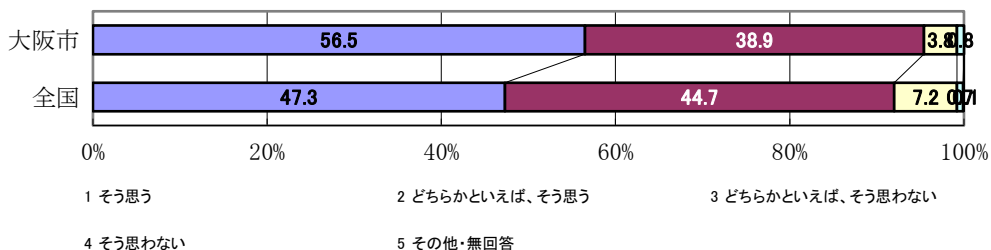
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

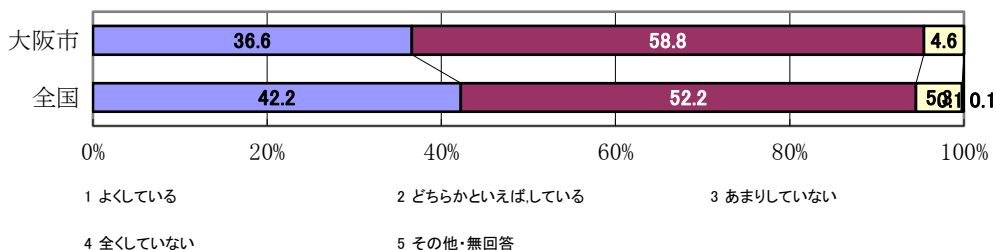
学校「そう思う」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

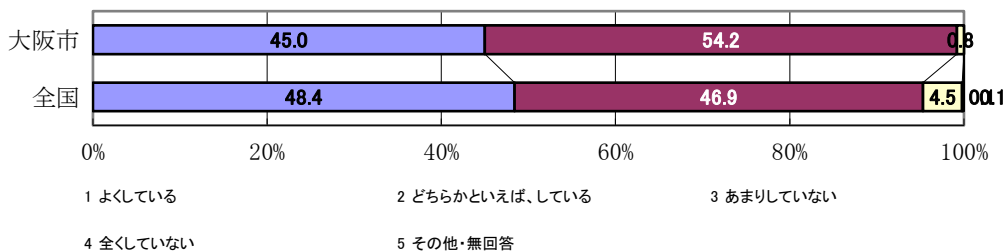
学校「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校「よくしている」を選択

